

社員一人ひとりが考えるサステナビリティ

ここでは経営陣や社員から寄せられた、
自身の実体験や日頃の業務を通じて考えている
「サステナビリティ」への思いをご紹介します。



ダイバーシティ(多様性)は日産の財産です。道徳の面のみならず、ビジネスをするうえでも強みとなり、価値創造に結びつくということを、私は信じています。この考えは、これまでの私自身の人生や仕事を通じて、さらに確信できるものとなりました。なぜなら私の経験はまさに、多様性に彩られているからです。むしろ多文化の経歴といってもいいでしょう。私はブラジル生まれのレバノン系で、フランスで教育を受けました。日本には6年前に来日し、それまでは3つの大陸でマネジメントに携ってきました。欧州で7年間、南米で4年間、そして北米で7年間です。さまざまな異文化の人びとに囲まれ仕事をしてきました。それぞれの土地で、私とは違う人たちと接することで、私とは異なる視点を持つ人たちから多くを学びました。世界中の多種多様な人びとに囲まれて暮らし、仕事することによるメリットを享受してきました。さて現在、日産では、多様性のさらなる強化を図っています。たとえば日本では女性にとってより魅力的な会社になるための具体的な方策を進めています。世界のほかの地域では、異なる状況下にいる人、出身の異なる人の社会的地位の向上について対応を始めています。日産は有言実行です。多様性の充実に向けて、私たちは活動しています。

カルロス ゴーン
社長兼最高経営責任者



一般海外市場(GOM)を担当してきて、常日頃、心掛けてきたことがあります。それは、それぞれの市場を現場から学び、グローバルに行動する、ということです。GOM市場は、国ごとにさまざまな言語、文化、環境、社会制度、宗教を持っています。そうした多様性をまず理解し、それらを尊重したうえで、グローバルな活動を推進することが重要だと思っています。グローバルなルールがまずありきで、それらを無理に押しつけても、なかなか浸透させることは難しく、持続的な活動には結びつかないこともあります。私がインドネシアに駐在したときのこと、現地の工業団地に日産の工場をつくる機会に恵まれました。その際、工場敷地にモスク(イスラム教寺院)を建設しました。インドネシアはご存じのとおり、世界最大のイスラム人口を持つ国です。工場で働く社員の方々の希望だったのですが、そのモスクは、当時その工業団地の中でもいちばん大きな規模となり、社員はもちろん、近隣住民の方々にも大変喜んでいただき、新工場での生産立ち上がりは非常に順調なものになりました。その国の法規制を遵守するのはもちろん、文化や環境を尊重し、その国の中で愛される、地域のコミュニティに受け入れられる外国企業であらんとする気持ちが大切だと思っています。

志賀 俊之
最高執行責任者



昨年東京・六本木ヒルズで発生した回転扉の死亡事故を検証し、事故の本質的原因の究明と、再発防止を検討するプロジェクトに参加しました。

使用するダミー人形の製造を含め、検証実験に自動車の安全開発技術のノウハウを提供したのですが、参加を通じてさらに思いを強くしたのが、いかに技術が進歩しようと、人を主体にするという視点を欠かしてはならないということです。日産が現在進める「危険に近づけない」コンセプトも、ドライバーのレスポンスビリティを重視しながら自動車としての新しい技術を提供するという考えに基づいています。技術と人の関わりについて、改めて技術者に問題提起をした事故であったと感じます。

内村 孝彦

日産テクニカルセンター・ノースアメリカ社
技術企画担当(米国)



日産に勤めて15年。いわば臨死体験を経て、この4~5年で日産はサステナブルな状態になりました。方向性が明確になって、無駄を省き、価値の創出に向けて一貫して考え、挑戦するようになりました。それはステークホルダーからの信頼に応えられる組織になったということです。魅力的な製品ラインアップを見れば、さまざまな開発投資が実を結んでいることがわかります。ますます、お客さまや投資家に信頼される会社として、前進できると思います。

ラッセル クロッサン

欧州日産会社
品質管理担当(英国)

フランスでも、環境や社会面に対する人びとの関心は高まっています。「持続可能な発展」は、今世紀の鍵となるでしょう。しかも実行し、実証しなければなりません。日産にも、まだまだ改善の余地があります。たとえば個々の地域活動をつなげていくこと。すべての社員にしっかり説明して連携し、サステナビリティが全体の傘になると、もっと大きな力を発揮できるはず。一人ひとりがサステナビリティ大使になること。日産ならできると信じています。



マリー フランソワ ダムザン

欧州日産会社
人事担当(フランス)

デザインは、感情に訴求し人の行動を変化させる力を秘めています。ジレンマに向かい続けることがデザインだとも言えますが、サステナビリティもわかり。その実現にはバランスが求められます。しかし、日産のバランスが適正かどうかを判断するのは、お客さまです。「持続可能である」という視点に縛られすぎることなく、お客さまにとって価値あるクルマを創造し、結果として「持続可能にすること」がデザイナーの使命です。



田井 悟

日産デザインヨーロッパ社
デザイン担当(英国)



縁あって机を並べる社員は、当然ながら、会社にとって貴重な「人財」です。管理層や組織が、一人ひとりの能力を最大限に引き出し、活かしてこそ「人財」なのです。そのために、社内研修をはじめあらゆる機会をつくるのが大切ですが、何より重要なのは、あるべき姿を目指して教育するには、完全にそれが定着するまで、繰り返し繰り返し、地道に毎日続けていくという姿勢なのではないかと思えます。

吉田 利一
(株)日産フィナンシャルサービス
コンプライアンス担当 (日本)



海外営業を担当していた入社まもなくの頃に、先輩から言われた言葉。「私たちは仕事で何かを決めたり実行しているが、それにはその国の販売店の社員一人ひとりの生活がかかっていることを忘れないで。市場規模の大小にかかわらず、大切なのは自分の仕事がかつさまざまな影響力を持つと自覚すること」。この言葉に学んだ社会人としての責任を、今はマネージャーとして後輩の育成という形で果たしていきたいと思っています。

信太 好美
日産自動車(株)
ダイバーシティディベロップメント担当 (日本)



子どもたちの教育を支援する活動や、環境を保全するためのさまざまな私たちの試みに対し、感謝の手紙をたくさん頂いています。それは社員の意欲の源にもなっています。地域社会に貢献していくという活動は、子育てのようなもの。助け、励まし、育てていくのですから。そして支援した子どもたちが、やがて社員やお客さまになるかもしれない。大事なことは、ともに発展していく関係を築くことだと思います。

モーリーン イヴ ネア
英国日産自動車製造会社
社会貢献活動担当 (英国)



商品企画は、お客さまありき。常にお客さまを向いて、満足していただける新しい価値を提供していくために力を注いでいくという仕事です。経済発展が続き、モータリゼーションが始まったといえる中国でも、安全・環境保全是切実なテーマと感じます。中国には美しい川や湖、豊かな自然がまだまだたくさん残っています。その保全に向けて、企業と地域・行政が連動する動きが始まっています。日産のグローバルな安全・環境対応技術を導入することも新しい価値提供のひとつと考えています。

福本 淳一
東風汽車有限公司
乗用車商品企画担当 (中国)



日産のビジョンは明確です。「人々の生活を豊かに」は、市場と社会に対する責任を示す、強いメッセージです。これに向かい社員は、限界を超えようと挑戦しています。最大の挑戦は、次代に、よりよい明日を手渡すべく、その方法を探求することでしょう。また達成するための術も知っています。さまざまなプロジェクトで、率先して行動する社員の目に、成し遂げた充実感を見るとき、私もまたこの会社を誇らしく感じます。

ディエゴ アラソラ
メキシコ日産自動車会社
広報担当（メキシコ）



現在、ブラジルの一部では砂漠化が進み、陸の孤島と化し、貧困にあえいでいます。こうした地域で企業の果たす役割は大きい。ブラジル日産は、地域支援プロジェクトに参加し、食糧や衛生用品などの生活物資と、運搬車両を提供しています。また人びとの自立支援にも取り組んでいます。大切なのは、支援の成果を見届けること。援助をうけた子どもたちが、やがて理性がある大人に育つのを目にするのは、かけがえない喜びです。

パトリシア コエロ
ブラジル日産自動車会社
市場情報分析担当（ブラジル）



「日産マネジメントウェイ」のマニュアル(VRM)作成に携わり、強く感じたことがあります。それは「バリュー(価値)」を高めていく方策はさまざまあるけれど、起点となるのは「社員のバリュー」であるということです。社員一人ひとりのバリューが、バラバラになることなく、つながり広がっていくと、やがて「社会のバリュー」を生み出すことができるのです。そのサイクルが自然に拡大していくことこそが、サステナビリティではないかと思います。

今場 和弘
日産自動車（株）
人財開発担当（日本）



働く社員の安全と健康をアドバイスしている立場というなら、持続可能性とは、社員が健康でいることにほかなりません。工場では、疲労が蓄積することのないように作業負担の軽減を図るなど、労働災害の防止に努めています。とはいえ健康でいるには、会社はもちろん、本人の自覚も大切。幸いなことに操業以来20年間、死亡事故は起きていませんが、働く本人が体調を万全に整えることも、リスク軽減には必要なのです。

コリン アデレー
英国日産自動車製造会社
労働安全管理担当（英国）



カナダは世界でも有数の多文化国。文化的な相違への理解と尊敬は不可欠です。ここ数年にわたり、私たちは北米日産会社と一緒に、両社のベストプラクティスを共有し、効率を高めるプロジェクトを推進してきました。実は当初、この効率性向上と、カナダの良さである多様性のバランスをとることは難しいのではとの懸念がありましたが、すぐに相乗効果を確認することができました。ベストプラクティスの共有はビジネスの核の形成に、また多様性はお客さまとの接点となるアイデンティティの確立につながっています。

ドナ トラウインスキー
カナダ日産自動車会社
広報担当(カナダ)



青い空と大海原、白い灯台に赤レンガの倉庫群。そんな素晴らしいイメージで描かれる海洋上でも、陸上と同じく環境問題が問われ始めています。自動車製品を大量に輸送する自動車専用船は、その巨体を動かすために多くのエネルギーを使用します。海洋汚染に対する国際規模の規制もようやく緒に就きました。大切な地球、子どもたちの安全環境を守るために、一運航者として、経済性との調和システムを構築する仕事に関わり続けたいと思います。

山浦 孝
日産専用船(株)
海技室(日本)

真に力を発揮するには、点ではなく、線でつながった業務形態こそ重要です。私は、九州工場です。新車からマイナーチェンジ車まで設計思想を貫き、お客さまのニーズに合った量産型車両を世に送り出すために、点を繋いでいく。この自分の業務に、誇りを感じています。お客さまに満足していただける商品を提供するために、これからも努力していきたいと思います。



迫 貴幸
日産自動車(株)
九州工場 試作業務担当(日本)

私は、「マキシマ」組立ラインの責任者として、誇りを持って働いています。私の職場の組立スタッフは皆、ただ今日という日のためだけでなく長期的視点を持って、「マキシマ」の組立に取り組んでいます。クルマの生産時にまず念頭においているのは、安全なクルマをつくることと、お客さまが満足するクルマをつくることです。よって、たとえお客さまが目にするような部品であっても、正確に丁寧に組み付けることに全力を尽くします。そして、持続可能性という視点では、耐久性が高く長持ちするクルマをつくることも、大切なことと考えています。



チャールズ レスター
北米日産会社 スマーナ工場
マキシマ組立担当(米国)



私は、日産の将来にとっても期待しています。このように積極果敢な目標を設定し、その達成に向けて勤勉に取り組む会社で働けることは、私にとって大きな喜びです。私たちの経営計画である「日産バリューアップ」の成功は、私たち一人ひとりの仕事の成否にかかってくるのでしょ。そして、日産の持続可能性は、継続的な業務プロセスの革新やチームワーク、および高品質でコスト競争力の高いクルマの生産を、どれだけ一貫して達成していけるにかかってくるのだらうと思っています。

シェブロン ブロンド
北米日産会社 キントン工場
エンジニアリング担当（米国）

クルマというハードの販売を通して、信頼や満足感というソフトをお届けするのが私の仕事です。営業マンの最高潮は注文を頂く時に、一方、お客様さまは納車の時に迎えると言われます。この微妙なずれが問題。多くの期待や気持ちが託された「日産車」を手渡すメッセンジャーとして、常にお客さまの視点に立つこと。そこから始まるお付き合いこそが、かけがえのない日産の財産であり、私の目指すサステナビリティです。



片切 倫子
日産プリンス東京販売（株）
カーライフアドバイザー（日本）

仕事柄、社外での講演を依頼されます。そんな時「企業は何を提示できるか」をよく考えます。開発中のノウハウなどはもちろん難しいですが、それ以外であればどんどん公開すべきだと思います。社員一人ひとりが当たり前のように、社会にオープンな態度を示して初めて、「あの会社は分かりやすい」と感じてもらえるものと考えています。そうすると、内部も外部も意見を言える風土になり、活性化していきます。これも、一人ひとりの意識改革がもたらすサステナビリティだと思います。



武井 厚司
日産自動車（株）
「日産生産方式」推進担当（日本）

カルソニックカンセイは2005年度から、コーポレートビジョンに「たゆまぬ質の追求」を掲げました。私たちはこのビジョンのもと、ステークホルダーと直接関わり合い、製品、人や業務の質を追求することで「価値を高める」ことを目指しています。「効率を高める－質を高める－価値を高める－利益を高める」、このスパイラルアップこそが私たちのサステナビリティです。



桐原 貴志
カルソニックカンセイ（株）
コーポレートオフィス（日本）